

## 医療費控除について

確定申告の時期となりました。今回は医療費控除についてポイントを記載します。

◆しくみ

医療費控除 の額 (上限 200 万)	=	1年間に 支払った 医療費の 合計額	-	保険等から の給付金 の額	-	<b>10万円</b> 所得金額が 200 万円未満の人は 「所得の 5%」
---------------------------	---	-----------------------------	---	---------------------	---	---

◆医療費控除の対象になるかならないかの判断基準

診療・治療・療養のため…○ 美容・健康維持・予防のため…×

代表例

	医療費控除の対象となる	医療費控除の対象とならない
治療・療養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師に支払った診療費・治療費</li> <li>・治療のためのマッサージ、はり、灸</li> <li>・治療のための松葉杖、義足の購入費用</li> <li>・異常があり治療が必要となった健康診断・人間ドック費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診断書作成費用</li> <li>・予防接種費用</li> <li>・健康診断・人間ドック費用</li> <li>・医師等への謝礼</li> </ul>
歯科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯治療・入れ歯の費用(自費含む)</li> <li>・治療としての歯科矯正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容のための歯科矯正</li> </ul>
医薬品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処方箋により薬局で購入した医薬品</li> <li>・病気やケガの治療のために購入した市販の医薬品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労回復、健康増進・病気予防のために購入した健康食品やドリンク剤</li> </ul>
入院・通院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院や入院のための交通費</li> <li>・公共交通機関での移動が困難なためのタクシー代</li> <li>・医師の指示による差額ベッド代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院や入院のための自家用車の燃料代</li> <li>・自己都合で希望する差額ベッド代</li> <li>・入院のための寝具、洗面具費用</li> <li>・入院時のテレビや冷蔵庫の賃料</li> </ul>
出産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中の定期検診、出産費</li> <li>・助産婦による分娩介助料</li> <li>・不妊治療費、人工授精費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母体保護法の規定によらない妊娠中絶費</li> <li>・無痛分娩のための講座受講料</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の証明がある場合のおむつ使用料</li> <li>・レーシック手術</li> <li>・医師が治療上必要と判断した近視矯正手術・眼鏡、コンタクト購入費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の眼鏡、コンタクト購入費</li> <li>・補聴器の購入費</li> <li>・転地療養のための費用</li> </ul>

◆保険金などで補てんされる金額は医療費から差し引かなければなりません。

(例) 生命保険による入院給付金や健康保険から受け取った高額療養費、出産一時金

◆納税者本人・納税者のご家族のために支払った医療費が対象ですが、家族は扶養家族である必要はありません。家族の中で一番年収が高い方が家族の分をまとめて申告するとお得です。